

多数アンカー式補強土壁工法 NETIS登録

日本の土質の特性を活かし、建設発生土の有効利用を考慮して開発された多数アンカー式補強土壁工法は、高い耐震性能、環境負荷の低減そして優れた安定性を持った補強土擁壁です。



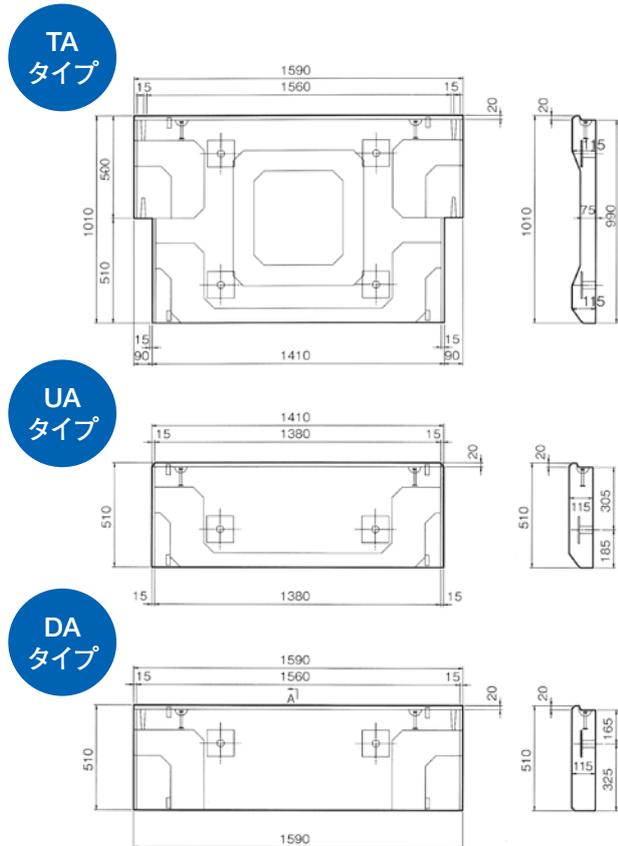
国交省 灰塚ダム



(主) 高田沖美江田島線 (塩害対策仕様)

部品・規格寸法

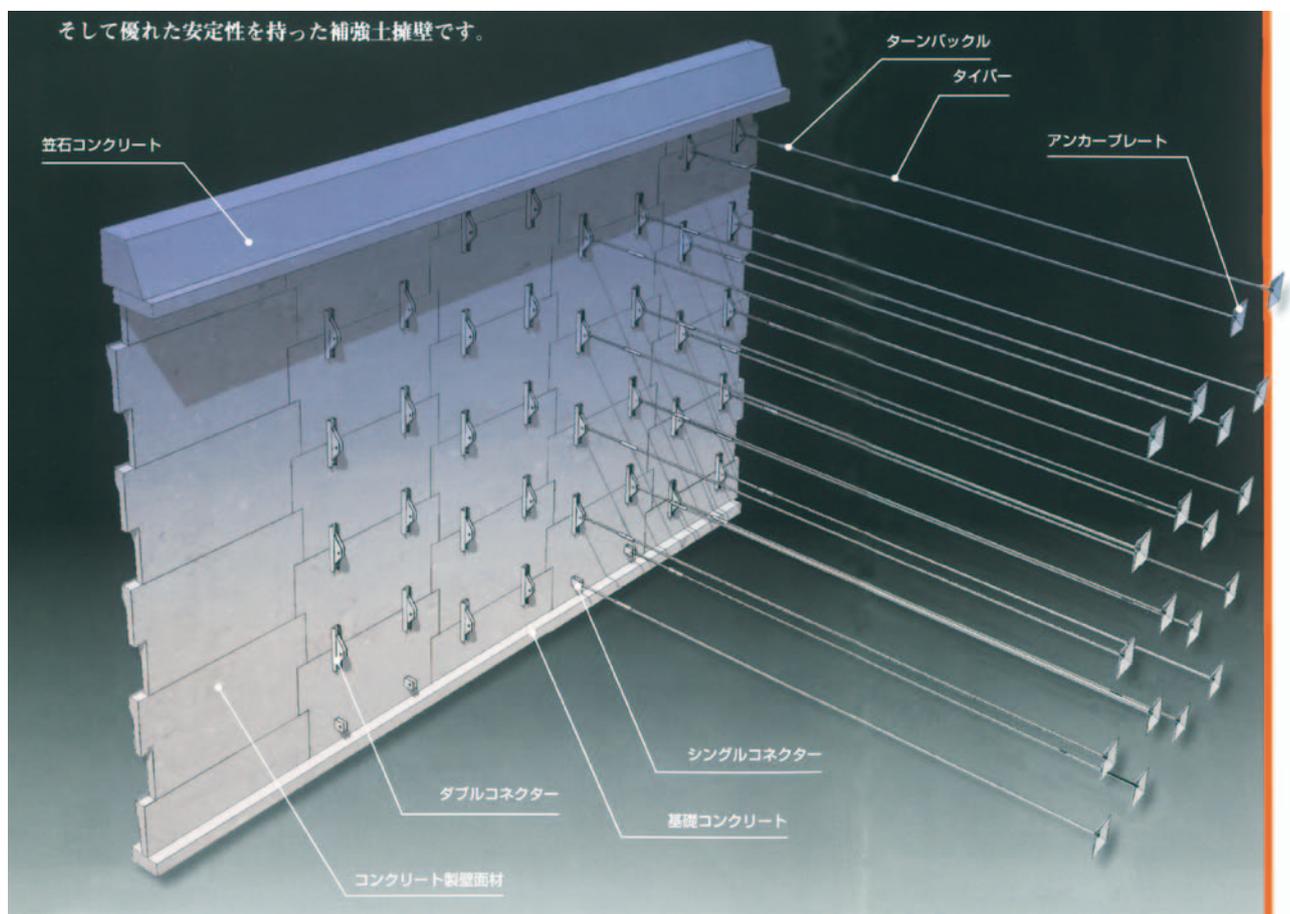
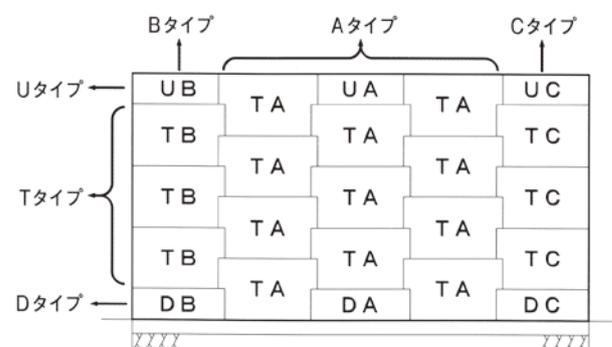
■コンクリート製壁面材



記号	形状寸法	面積(m ²)	質量(kg)
TA	115×1,000×1,600	1.500	351
TB	115×1,000×1,500	1.440	328
TC	115×1,000×1,500	1.440	328
DA	115×500×1,600	0.800	200
DB	115×500×1,500	0.745	189
DC	115×500×1,500	0.745	189
UA	115×500×1,400	0.700	178
UB	115×500×1,400	0.695	177
UC	115×500×1,400	0.695	177

※質量は参考質量です

■壁面材の形状(正面組図)



そして優れた安定性を持った補強土擁壁です。